

NW全国クルージングの旅

●第2日1回目:2011/08/28

<http://cwtg.jp/nwclog/2011/8/27.html>

▼はじまり

<http://cwtg.jp/nwclog/2011/8/28.html>

芝村：こんにちは

芝村：さて。そろそろ各国の様子2をやるかのう

芝村：今日はどこをクルーズするかのう。

芝村：レンジャー、世界忍者、よけ、神聖、土場ね。

▼海法よけ藩国

芝村：ここはNWC。すなわちよけの森の中にぽっかりあいた広場だ。

芝村：周囲は樹が生い茂り、遠くに巨大なよけタイガーが走るのが見える。あ、ダチョウみたいな感じが一番近いかな。

芝村：気温は32度。森の中なので過ごしやすい。

芝村：風はあまりないが、これは森が遮っているせいだろう。ここから移動していけるよ。

芝村：森は耳の長い、音もなく走る人々が多いね。

芝村：動物たちと意思疎通ができていようだ。ネコリスと音にならぬ声で会話しているように見える。

芝村：人間離れした姿だね。綺麗だよ。

芝村：これは移民ぽいね。

芝村：ちなみに、森の外から本来の住人も歩いてきている。さまよえるよけの民だ。猫士と挨拶している。

芝村：こちらは耳もあまり長くない。人間に見える。

黒崎克耶@よけ：顔をできるだけかくして挨拶できたらしてみます

芝村：#どっちに挨拶する？>黒崎

黒崎克耶@よけ：#とりあえず耳の長い人へ挨拶してみます

黒崎克耶@よけ：「こんにちはー(頭をさげつつ)」

芝村：耳の長い人は黒崎を見て、全部を理解したようだ。

芝村：耳の長い人は念話で本来の国民の多くは他国を旅していると伝えた。貴方の家族も。

芝村：風雪に耐え、今は帝国領を歩いているようだ。

芝村：黒崎は民の人口はさほど減ってないようなことを確認した。

芝村：行政は、王不在の中で、評議会が機能しているようだ。ACEに欠損はいないようだ。そして耳の長い人が呼吸をしていないことに今気づいた。

芝村：王城のあたりは巨大な樹だね。あまりつかわれていないようだ。

芝村：今は樹にゆっくり飲み込まれている。自然は偉大だ。

芝村：よけツリーの上にネコリスが並んでいる。家族のようだ。

芝村：その横に複眼を持つ耳の長い人がいる。微笑んでいるよ。あるいは遠い世界の姿をネコリスに話しているのかもしれない

芝村：産業らしい物は森では見あたらない。

芝村：海岸まで移動すればあるかも。

芝村：ネコリス達が樹から離れた。身を膨らませて風に飛んでる。

芝村：続々とネコリス達が風にのって移動しているようだ。

芝村：海岸というか砂浜に移動した。海にはメガフロートが並んでいる。これはまだ建造中だね。

芝村：続々と製造されているようだ。巨大ドックはFEG資本もあつたりで、また稼働をはじめているようだ。

芝村：そだね。今は輸出産業がメインのようだ。働いている人は外国人ばかりぽいが。

芝村：FEGの蜘蛛型ユニットが足をふって森沢に挨拶した。

芝村：#まあ、さまよえるよけ人、移民ともども、造船所を稼働させるには設定があってないので、外国人がやってるんだろうね。

芝村：まあまあうまくやっているようだ。

▼世界忍者国

芝村：ここは世界忍者国だ。ロイ像が乱立している。600以上はちろくある

芝村：かなりシュールな光景だ。麦畑とかにぽつんと立ってたりする。

芝村：国民はそこそこいるね。白い犬が走ってる。たぶんアレは国民だ。

芝村：今人型にかわった。走ってる。犬士のように。

芝村：おいかけっこをしているらしい。農作ロボットの影に隠れている。尻尾振ってる。

芝村：あれ。農作ロボットなんてこの国にあったっけ

芝村：浮いてるね。

結城由羅：にゃんぽつとならありましたけど、それですかね？

芝村：それか。たしかに猫耳ついてる。>にゃんぽつと

芝村：探しているのはカヲリのような。オロオロしている。

芝村：政庁についた。なんか増設されて立派になってる。

芝村：行政能力があがってるようだ。じいに聞くと、おおむね平和そうですが、人口増加に心がけねばと小言言われた。

芝村：ようするに結婚しろとか言っているようだ。話によると結婚年齢を14に引き下げるという話もあるらしい。

黒崎克耶@よけ：じいってひろきさん・・・？（違

芝村：ひろきだな。

芝村：じぶんのことじいいうとるばい。

結城由羅：国民の結婚を推奨？

芝村：ロイヤルウェディングじゃね。

芝村：今は大人が少ないので、機械をかなり使っているが、それはそれで燃料費の問題もあり、無名からの輸入の代金もありで、中々悩ましい国情らしい。

芝村：ロイヤルウェディングだと観光客も増えて主要な輸出物であるジュースの売り上げがあがるとせこい計算までしてる。

芝村：#世界忍者国ってジュース名産だったのかと、驚く芝村 この国のこと俺ようしらんな。

結城由羅：いや、だから相手のあることを無理言うなしw

芝村：じいは言った。この際相手はどうだっていいんです。

結城由羅：滞在ACEのみなさんにご健勝かをお聞きしても

芝村：そばを光太郎が歩いているくらいだから無事そうだね。

芝村：ACEは無事ですですが説教はこれからですとか言ってる。

▼レンジャー連邦

芝村：逃げてきた。ここはレンジャー連邦だ。

芝村：砂漠と、防風林、防砂林のある島だね。 あちこちに雀荘があり、昼間から女達がじゃらじゃらやってる。

芝村：札束が行き来してる。

芝村：国民：「お、それあたり。ご無礼」 国民B：「ぎゃー。結婚資金が！」

芝村：というか。この国の麻雀は伝統のものらしい。 国をあげた大会まであるな。

芝村：古くはターン2からすでに行われているからまあ、文句なく最古の文化群に属してるみたい。

芝村：あがるときにご無礼というのがレンジャー流らしい。

芝村：国民達は麻雀終ってもんじゃ屋でもんじゃ焼いてる。げらげら笑ってるな。

芝村：なんというか。まあ、人生は楽しそうだ。

芝村：へそだしで、凄い化粧のねえちゃんとかも普通に歩いてるな。 この国は女性が大事にされているせいか。女性が強い。

芝村：それにしてもラブホテルが多い。 観光客も世界一の施設を来そうラブホテル目当てでカップル連れも多い。

芝村：#俺のイメージする国とだいぶ違うが大丈夫か（笑）

芝村：空港についたよ。ここは共和国の空の玄関だ。ここから大小の航空機が各地に飛んでいる。・・・キノウツン以外は

芝村：凄いね。一日中航空輸送をしているようだ。重量あたりの輸送コストは海（羅幻）に劣るけど、レンジャーは速度で勝負らしい。

芝村：今や物流の一つの要になってる。企画的にはあたりだね。

芝村：ビジネス客也多そうだな。

芝村：乗り継いでFEGに行く人も多い。帝国の金持ち国と同盟するといい結果出るかもね。

芝村：観光客も順調に伸びてるね。ラブ関係のバカップルおみやげも良く売れている。

芝村：おそろいのマグカップとか（あわせるとハート）二人羽織用Tシャツとか。

芝村：これを企画した奴はある意味天才だな。

芝村：二人羽織Tシャツで

芝村：よし、思ったより下世話な国もとい、生活感のある国で満足。

芝村：人口は流動性高いけど、50%くらいにはきてるな。ACEは変化なし。いや、テイタニアが国内にいないようだ。

▼土場藩国

芝村：ここは土場だ。空を犬が飛んでいる。空が暗くなるほどいる。

芝村：帽子とって挨拶しあってるな。というか、シュールだ。この犬5m級だ。

芝村：人間の姿は見えない。

芝村：建物は犬用と人間用で分けられているね。

芝村：犬たちが帽子かけに帽子をかけて、パソコン操作しているのがシュールだ。会話は無い。

芝村：朝6時から20時まで仕事してるね。

芝村：エリートだな。

シュワ：Qシ：人と犬との間の養子縁組は中止されましたでしょうか？

芝村：Aシ：うん。それで犬と人間の接点は無くなっている。

芝村：こいつらの動きで帝国経済が動く。まさにわんわん帝国だ。

芝村：あと呼吸するように節税している。共和国に秘密金庫作ってるやつらがいる。

芝村：人間用の建物には昼過ぎから崩れた服装のやつらがぱらぱらあつまって仕事の真似してるな。

芝村：笑いが絶えないたのしい職場みたいだが、仕事大丈夫かと心配になる。が、節税には余念がない。

KBN：税金対策で雇ってるだけとか言うオチじゃなからうか・・・

芝村：#たぶんそう＞KBN

シュワ：Qシ2：人間の会社は犬の会社の子会社などになっているのでしょうか？

芝村：Aシ2：今見てる会社は、さっきの犬の会社と同じ会社ということになってる。登記上は

芝村：国民：「お犬さまのおかげで仕事せずにいきていけるんだから俺たち勝ちじゃね」国民B：「薄い本かいにこうぜ」国民C：[ひゃっほー]

芝村：国民：「しかし、越前心配だよな」国民B：[良質なフィギアが減ってる。実にいかん]国民C：[ヒャッハー！]

芝村：国民：「電子妖精えろかわいいかったのにな」 国民B：「どうせまた規制だろ。はいはい。運営氏ね」 国民C：「ヒッハー！ イエー！」

弓下嵐：こんなところあるみさんのマネしなくてもいいのよ！

芝村：それは無理。設定国民は藩王や国民の鏡(笑)

シュワ：「さて、諸君。気に入ったモノがなければ作ればイイジャンイ」>伝えられるならお願いします

芝村：シュワが説教すると職場の空気が悪くなった。しらけているようだ。マジレスしないでと言われて、今日は空気が悪くなったので解散とか係長がいいだした。

芝村：みんなが帰っていったぞ。

シュワ：と、いうかこれで解散する会社って大丈夫なんですか？(汗)

芝村：大丈夫そうよ。人間はほら、はなから生産性悪いで評価されてるから。

芝村：この日、シュワの悪口とマリアのエロコラージュとかが大量投下されてる。

シュワ：#マリアの写真がでまわってるんですか！？

芝村：そうね。水の巫女のもすごいでてるよ。本人にはとても見せられないが。

芝村：なんかいいところを探したいね。どこかないかしら。いや、犬は節税以外では非の打ち所がないけれど

芝村：お。みつけた。児童福祉施設で親子が別れている。

芝村：犬：「元気でな」 人間：「お父さん・・・」 犬：「なに、すぐ法律は俺たちがかえてやる。すぐだ。少し待て」

芝村：難しい話だ。

シュワ：Qシ3：かれんちゃんの扱いや、国民からの評判などはどうなっておりますでしょうか？

芝村：Aシ3：もう流行ってないので誰も話にのせていない。いわゆるフツー。

芝村：かれんを見してみるか。

芝村：かれんは王城で成立している。KBNが玉座に座ってまるまってる。

芝村：缶：「は。この調子だと普通にあいつらが脱税しても税収が他国をこえるんじゃないね」 KBN：「普通に払わせれば凄い国になるんじゃないね」

芝村：二人は期待してかれんたちを見ている。

芝村：何もないようだ。

芝村：#いや、ヒッハーを期待したんじゃないかな。たぶん。自信ないけど。

黒霧：Q：聞いても良ければ、図書館の様子ってわかりますか？

芝村：図書館は普通だね。立派そうに立ってる。利用者は多いね。

▼神聖巫連盟

芝村：さて。ここは神聖だ。

芝村：稲穂が輝いている。水田が見渡す限り続いている。

芝村：あちこちにお堂や小さな神社があり、その周辺だけは森が維持されている。

芝村：よけの民が数名見える。セイイチローのようだ。東国風の挨拶をしている。

みぼりん：挨拶をしかえします「こんにちは。不自由はないですか？」>よけのみなさま

芝村：セイイチロー：「大丈夫です。親切な人」

芝村：セイイチローはみぼりに家内安全のまじないをかけた。心が少し軽くなった気がした。

みぼりん：「それはなによりです(にこっ)」

芝村：微笑んでセイイチローは去っていった。小さいのを連れている。おそらくあれは妹だろう。

みぼりん：念のため政庁で、異国の方が困らないよう配慮を依頼しておきます。

芝村：すでにされているようだ>みぼりん

芝村：滞在ACEに問題はない。行政は変化がないというか、すごいことは10年単位でやったことはない。治安は普通。観光客はほとんどないので、逆に観光されるしまつだね

芝村：何一つ不思議な光景がないね。蝉が盛大に鳴いている。

芝村：いい風が吹いている。

芝村：犬士は姿が見れない。この国では犬は嫌われている。表にも歩けない。

芝村：国民は落日に向かって手を合わせている。遠く、見渡す限り作業をやめて手を合わせているな。

芝村：天に神々が飛ぶのがうっすら見える。

芝村：夜の神々が現われている。長い槍をもってあるものは構えている。普通に見れば星座に見えるだろう。

芝村：遠く、セイイチローが風を受けながら空を仰いでいる。少し笑って、急いで離れようと妹に言った。ここはいい国だけど、我々には魔力が良質すぎる。

芝村：土地の神々は小さな清められた祠にいる。瀬戸口がおがむと、おがむにはおよばず、まれひとのかごがすでにあると貴方にささやいた。

芝村：養護施設の子供は少ない。でもまあ、前よりはだいぶ増えたな。

芝村：保育園、小学生も同様だ、かつて襲われ、戦場になった傷跡がまだ残っている。

芝村：それにしても建物はいずれも見事だ。金属が一つも使われていない。

芝村：木造建築だね。この国で自然に還らないものは余り使われない。

芝村：天の神々が実りの魔法をかけている。

芝村：すかし彫りで物語が描かれている。長い長い物語だ。

御奉梗斗：Q:彫られている物語がどんなものかわかりますか？

芝村：A:彫られている物語は各国の歴史だ。ここは秘められた図書館だ。見る物が見れば各国の歴史が一望できる。

芝村：おそらくセイイチローがきたのはこの秘密の図書館の絵をみるためだろう。

芝村：この物語は前ループ情報がでているな。ターン17で各国に壊滅的被害が出ていることが

示されている。

芝村：歴史が改変されてもその外の存在である神々から正しく情報を得ているものがあるようだ。

ユーラ：（迷惑にならない程度に田んぼの神様を拜っておきます）

芝村：ユーラの肩に小さいカエルが一匹のった。

芝村：ユーラについてほねっこに行くことをゆるすと言っている。

芝村：夜になれば紙が歩いているのが見える。火事場で列を作っている。

芝村：キンキンカンカンと音がする。鍛冶師が仕事を始めたのだろう。

芝村：式神たちに手伝わせ、白い服の鍛冶師が鋼を鍛え上げている。古い釘を新しい釘に鍛え直しているようだ。おそらく暁むけのアイテムだろう。

芝村：この国では釘はつかわないので、輸出用だね。

芝村：それにしても古い釘を送って鍛え直して送り返す方がよほど手間がかかりそうだが、この国などは時間のながれが違ふんだらうね。

御奉梗斗：鍛冶品の評価は他国からだところそこ高いのでしょうか？

芝村：高いね＞他国評価

▼おわり

芝村：はい。お疲れ様でした。ということで、続きは22時からで

●第1日：2011/08/27

<http://cwtg.jp/nwclog/2011/8/27.html>

▼はじまり

芝村：ニューワールドに接続しました。ここは宰相府の夏の園です。海岸では花が広がっています。

芝村：ここから、各国に回る高速船が出ています。

芝村：取り回しの良さから軍艦が一番なのだけど、今回は遠浅であることもあり、喫水の浅いボート型です。沖合にいくと国民に分からないようにゲートシフトするようにしています。

芝村：紅葉国→玄霧→FEG→鍋の国で 一度クルーズします。

芝村：持ち時間は1国五分程度。

芝村：船は既に陸を離れて快調に速度をあげています。

▼紅葉国

芝村：紅葉国の沈んでいる場所につきました。海洋しか見えません。

芝村：前ループと比較して浮上時間などに狂いがでているようです。

芝村：現在の水の透明度は30mくらいなんで、ちょっと見えないね。

芝村：しばらくまっていると、ブイがいくつかあがり始めて、うるさい警報がなっている。

芝村：魚や海洋性哺乳類、鳥はそれで逃げるようだが、鳥の中にはこの音が魚を動かすのを知って狩りに使うものもいる。

芝村：一時間ほどで浮上。巨大な都市船が二基だね。空前の不況だったが、今三基目が量産されている。

芝村：大きなドームが開かれ、摩天楼がせりだしながら姿を見せています。港が現われました。船が続々寄港をはじめています。あと観光客も

芝村：安全圏は4km。浮上ではそこまではなれていないといけません。今見えているのは藩国船の本体ではなく、子機。それでも大きさは1kmあります。

芝村：にわかに海上の街が続々登場している。

芝村：ちなみにこの子機群は母船とドッキングしたり収容されたりする。

芝村：母船内は今夜だね。星空が12等星まで投影されている。ここまできるともはや夜ではない。空が輝いている。

芝村：予定では三年掛けて星空の比率をあげていき、その時を待つ予定だよ。

芝村：道行く人は空を気にせず、さりとしてネオンを輝かせるでもなく、商売に励んでいる。

▼玄霧藩国

芝村：ここは玄霧国だ。海から見ると霧に包まれている。

芝村：すでに人などいないようだ。

芝村：上陸したよ。

芝村：深い森が広がっている。文明の痕跡は見あたらない。

芝村：猫が数匹。森から現われて貴方がたを見ている。話しかけるでもなく、見守っているようだ。

芝村：ここは森だ。生き物はそれなりにいるようだ。が、皆、息をひそめているようだ。記録などは見る限りのこすようなものすらない。

芝村：原始の森だね。森国本来の形を良く残している。

芝村：猫は返事をしない。見守るだけだ。

芝村：特別大きな樹はないね。この森は言うほど古くもないようだ。

芝村：空は普通だね。

芝村：しばらくあれこれ調べるうちに猫が居なくなった。

芝村：霧の向こうから声が聞こえる。

芝村：???：「招かれざる客人よ。ここに何の用だ」

芝村：???：「ここは影しかない。きちんとゲートを通過されよ」

芝村：——何もかもが退屈に見える——

芝村：／＊／

芝村：気づくと海洋の上にいる。霧は既に無く、どこか遠くに飛ばされたようだ。ここからではもはや二度とはさがせまい。

▼FEG

芝村：ここはFEGの沖合だ。メガフロートが並んでいる。海上都市というよりは、光の畑に見える

ね。ここがFEGの燃料生産地のようなだ。

芝村：蜘蛛型のアンドロイドたちがアメンボ装備ですいすいと水面を移動している。今気づいたが、ここには波がまったくない。気持ち悪いほどだ。

芝村：共和国大統領：竜太郎 藩王：ジャイ 摂政：小鳥遊

芝村：FEG全体が巨大なビルに見えるね。天にまで届く塔だ。

芝村：1万mあるはずの積乱雲と比べて遜色ない。実際は2500mくらいの高さで麓はすでに富士山くらいまで広がる勢いだ。

芝村：既に頂点は見えないが、常時落雷を受けているようだ。

芝村：見ればこの水面の向こうには、遠く波を消す消波設備が見える。さすがは巨大土木国家だ。

芝村：FEGは雑多な人間で構成されている。雑然としているが別に暗くはないね。太陽光のかわりにあちこちに人工太陽が設置されている。

芝村：少し上層に出ると空中庭園があるね。天国のようだ。緑の草原に、大きな木々。風がわたり、青空が広がっている。

芝村：人工環境とは思えない場所だが、生物や生態系は微生物まで含み、オリジナルのままという。この場所は草原の国FEGの時代そのまま移設されたもののようだ。

芝村：1フロア下が雑然とした街とはとうてい思えない。人間の姿はまばらだね。蜘蛛型アンドロイドが水をあげているのが見える。

芝村：アンドロイドはいえいえ。仕事ですしと返して、水をやってる。

芝村：これだけ優れた技術力があるにもかかわらず、ホースで水を、人力？でやってるのは違和感を覚えるばかりだが、FEG風とはそういうものらしい。

芝村：人が出来るところは人でやっているという確固たる意志がある。

芝村：是空という国民は存在しないようだ。>ジャイ

芝村：FEGにいる蜘蛛型は登録数1000万ほど。重武装タイプは300万 二四時間で換装して全土に出撃できる。

芝村：空に穴があいてエレベータが現われた。園児達を満載している。保母に連れられて遠足のようだ。

芝村：いきなりばらばらにあっちいたりこっちいたりしている。保母が殺しますよー、整列してくださいーとか言ってる。言葉使いはなってない国のようだ。

芝村：いないようだ。>ジャイ 少なくとも共和国にはいない。

芝村：子供の中にはてやんでえべらんめえ、こっちは金物三代目だこんちくしょーと啖呵きってるやつがいる。中々末恐ろしい子だ

芝村：上は中層だから、おそらく職人街だね。古くからの砂漠の国の雑然としたバザールと昭和風味がまざった、古いFEGの形をたもっている。

芝村：／＊／

芝村：ジャイは政庁へ消えていった。時間切れのようだ。

▼鍋の国

芝村：ここは鍋の国だ。密林、ジャングル。当たり前。派手に国民が火炎放射器で畑を脅かす木々と戦う様が見える。

芝村：あちこちで煙あがってるよ。焼き畑がんばってるらしい。

芝村：国民：「ヒッハー！今日は焼けた肉樹の鍋だぜ！」

芝村：しかし緑も負けておらず、翌日には畑が半分くらいは緑に覆われている。道路の維持費のほうで新しく作るのより大変な国らしい。

芝村：幹線道路はどうにか人間側が勝ってる。右も左もバナナだらけだ。勝手にもいで食べてる人が多数いて、中々衝撃的だ。

芝村：緑に所有権がないようだ。

芝村：植物化？なにそれ？

#前ループでは国中に植物があふれて人を飲み込んだ事がある

#が、この状況はそれとは関係無いらしい

芝村：ここは鍋の国。人が食べ続けなければ文明を維持出来ない食は義務の国だ。

ミサ：あと肉樹って何のことですか？

芝村：バオバブみたいな樹のことだね。他国ではまずくて食されないが、蒸して味付けすればまあ食えなくもない。

芝村：恐るべき植物繁殖力を背景に、莫大な家畜がいる。で、それを自国でやつつけようとしているね。

ミサ：こんなに植物が増え続ける原因はわかりますか？わからなければ誰かに聞いてみたいのですが

芝村：昔からとしか返事かえってこないと思う。前ループからこんなんだし>ミサ

芝村：昔、ウサギを宰相府から緊急輸入してみたら、自然と闘わずに畑の作物を荒らしまくるといので、天敵法も大変らしい。

芝村：まあ、うまい食べ物があったらそっちたべるよね。

芝村：この国の自然資源はたいしたもんだが、帝國、共和国含めて自然はあふれかえっている。正直値がつかないのが現状だね。

芝村：見れば鍋の国のほとんど全部が木造だ。価格が限りなく安いのが原因らしい。

芝村：自生物がまずいかというと、まずいよね。トゲもありタネもある。葡萄とか、うさぎは種なしばかりを食べるねえ。

芝村：道は舗装されていないが、車はがたと音たてながらひしめいて動いている。

芝村：元民生委員トラオがACEの安否は把握している。彼の知る限りは全員いるとのこと。

芝村：いや。鍋の国の主要産業は車だよ。それもワイルドなやつだね。登攀確度七〇度とか、普通見ない車ばかりが売れている。

芝村：この国で車とか文明の利器は文字通り武器だ。それを駆使してはじめて自然と闘える。

芝村：ミサが見る限りは石塚がいないくらいだね。これはおそらく自動休眠だろう。

▼次のクルーズの相談

芝村：船はクルーズから戻ってきた。

芝村：次の4国いこうか。

芝村：どこにいく？

芝村：満天星。

芝村：他は？

芝村：満天星→よんた→無名→FVB→星鋼→越前

▼満天星国

芝村：満天星についた。この国には道がない。

芝村：全てのドアは三階などにあり、そこに駐機場がある。地面に人の姿はない。5mほどの高さから、見上げる限りの高度で、エアバイクが行き交っている。

芝村：地面を歩くあなた方を見て顔をしかめるものもいる。どうやら地上は、建物分だけちょっと自然から借りるのがこの国の流儀らしい。

芝村：設定国民はこの時間、ビルで仕事するものが多いね。高層ビルと言っても20階建てくらいだけど、そこにたくさんのバイクが鈴なりに釣り下げられている。

芝村：立体駐車場らしい。ビル一つに索が3本、そこに繋がれたエアバイクが200以上見える。

芝村：場合によってはぎらぎらまぶしいようなので、この国ではメタリックは好まれていないらしい。

他国ではあまり見ない白い色の車が結構ある。

芝村：窓から見る国民は熱そうにスーツ姿でデスクワークしてる。うちわであおいでいる。

芝村：この国の多くが自動車産業だね。宰相府にも工場作ってるけど。

芝村：今、夏のエコチャレンジみたいなのが行われていて、満天星を一番クリーンな空気の国にするという挑戦が行われている。

芝村：環境の悪い工業国というイメージはいやらしい。星鋼みたいに将来的には工業と観光が両立するかもね。

芝村：エアバイク普及世界一の満天星を世界一綺麗な空気の国に。と横断幕がはられている。

芝村：犬士は保護されているようで、ほとんど姿をみないね。他国とはそこが全然違う。

芝村：政庁は暑いが、前よりはずいぶん過ごしやすい。30度しかない。エアコンとめて窓あけたせいで、ヒートアイランド現象が減ってるようだ。

芝村：国内のACEはT16から変化は内容に見える。

芝村：まあ。世界一綺麗な空気の国というのは、環境気にする各国にはいい売り文句だね。さらに

エアカーは売れそうだ。

▼よんた藩国

芝村：ここはよんただ。地下から屈強な男達がトロツクにのって現われている。

芝村：国民：「親方、今日もキノコばかりでしたね」 国民B：「いいから黙って仕事しろ」 国民：「ちえっ」

芝村：見れば鋼鉄の鉄道が力強く移動している。キノコ満載だ。

芝村：この国は世界最大の食料生産国(鍋の国は自生なので統計から除外)よんた藩だ。

芝村：海では夜通しイカを釣ってるせいで海が明るい。

芝村：タイやヒラメが次々市場にならんで筋肉質の男達が競りをやってる。

芝村：国民：「タイだよ。タイだよ。松茸と一緒にどうだい。これでまさかの10わんわん」 国民B：「親方、宰相府から200tだって」 国民：「よしきたほいきた」

芝村：少し海岸線を見るとなだらかな斜面一杯に巨大穀倉地帯がある。

芝村：頼まれていないのに大盛りにして残すと怒られるのがタマに傷だが、おおよそ平和そうだ。

芝村：#ちなみにこの国のお陰で他国は食料価格をあげられずに以下アイドレスの歴史と経済になる

芝村：政庁はなんかわびしいが、国民は気にしてない。村役場のようだ。

芝村：そこで帳面をめくるかぎりは元々少ないACEは全員大丈夫らしい。近所の人が見回っているので確実に新鮮な情報だ。暇な老犬が毎日今日会ったことを報告している。

▼無名騎士藩国

芝村：ここは無名騎士藩国だ。海上にメガフロートが並んでいる。あれ。ここにも波がない。

芝村：整備をしているのは20mのメガフロートの隙間をジャンプする人間離れした美女たちだ。

芝村：ぎらぎら光る太陽光発電システムを整備している。砂漠の国らしく、陽射しは暑く、40度越えている。

芝村：どうやらFEGの消波装置、よけのメガフロートとともに、技術提携でつくられているようだ。

芝村：共和国の提携はあちこちで見ることが出来る。紅葉国も今思えばメガフロート技術の近縁だ。おそらく技術提携はしているだろう。

芝村：メンテナンス要員達は数百kgのパーツを抱えて交換している。

芝村：会話は見えないが連携している。おそらく電波でやりとりをしているようだ。

芝村：続々とジャンプして移動している。昼休みのようだ。

芝村：市街地は砂漠の中にある。砂がひどい。皆、マスクして布をかぶっている。

芝村：学校は布被った女の先生が、旧式のI=Dの腕を教壇においている。子供達が目を大きく開けて見ている。

芝村：綺麗にばらされ、部品毎にならべられていく。子供達はわーと見ている。

芝村：小さなネジまでいきあたった。ネジを手にも、先生は言う。これくらいのネジなら、みんな作れるよね。

芝村：子供達：「旋盤で」「MCプログラムかけます」「整形して削りー」

芝村：先生は満面の笑顔。「そのずっと先に、I=Dがあって、メタルボディがあって、我が国があります。幸いみんなはネジはつくれます。じゃあ、次にいきましょう」

芝村：ながみ村は農村だね。一時期ものすごく儲かったらしく、豪華な家が建ち並んでいる。

芝村：すごい農業機械も動いているね。それでさらに大規模農業をしている。

芝村：見ればだいぶ緑地化を進めていて麦畑が広がっているよ。

芝村：#大不況で食糧不足の話の時に物物交換とかで農業機械を相当手に入れたのが今の発展の礎らしい。

芝村：まあ、逆に言うと水にあんまり恵まれてないので、まだとりどりの野菜というのは中心部だけでしかつくれていないけどね。

芝村：砂漠方面は麦しかない。でもこのパンはうまいので人気だ。

▼FVB

芝村：ここはFVBだ。地上は半ば森に帰っている。荒れ果てたと言うよりは、自然に還っている。

芝村：空を見上げると、星が瞬いている。星ではない。噴射炎だ。

芝村：テラ低軌道ではFVBの艦、船が並んでいる。艦隊の再建と新国民のための居住船が急ピッチに量産されている。

芝村：宇宙港の周辺は8000kmに及んで等間隔で艦が100mごと80列で並んでいる。

芝村：女性ばかりの集団が新しい船に触れている。抱き付いたり、ヘルメット越しにキスしたりしている。

芝村：ネーバル系のような。入艦してこれからこの船の子になるようだ。

芝村：ハードウェアに人間というウェットウェアが入って一個の艦という単位になる現場を見ている。

芝村：ブリッジが明るくなった。新船長の少女が嬉しそうにシートに座って指示をてきぱきだしている。

芝村：艦の主機に火が入りはじめた。FVBの人間ならたいい感動する場面だ。地上から見えるのはあの光だ。

芝村：あの光があがるたびに、艦が完成している。命を持った行政単位として生まれているわけだ。

芝村：最盛期をすぐに取り戻す計画だ。涼州や星鋼京、満天もひとかたならぬ出資をはじめているからね。

芝村：そのうち、彼らが行く船の建造がはじまる。この先一〇〇ターン、FVBは帝国の艦船事業で拡大を続けるだろう。

▼星鋼京

芝村：ここ、星鋼京は静かだね。昨日までお祭りがあって、それで朝は静かだ。

芝村：宮殿が白亜に輝き、鳩が飛んでる。掃除の人たちが宮殿に目を奪われている

芝村：水路を船が行き交っているね。いずれも観光用のボートで、竿を人が操っている。

芝村：まさかここが帝國屈指の工業国とは誰も思うまい。

芝村：あちこちで眠そうな女達が顔洗って化粧を落し、寝直そうと家に帰り始めた。ここはハイマイルに迫る歓楽街でもある。

芝村：そうね。船乗りや観光客相手のボートで果物売る人はいるよ。

芝村：子供達は職人学校と、貴族学校で分かれているな。

芝村：国が経営するのは職人学校などの庶民の学校で、全て藩王の個人資産で運営された王家の紋章入りのものだ。

芝村：貴族学校は工業貴族などが私立で建てているね。

芝村：国民の多くは王家の紋章入りで学校をでているので、自分たちが王の子と自称している。愛国心は高い。たまにはなにつくけど。

芝村：私立小学校は貴族学校のはしりだね。今でも名門で生き残っている。

芝村：職人学校では基本的な勉強の一方で、職人としての技を仕込まれているね。王室に献上したことのある職人だけが先生として招かれている。

芝村：フシミの趣味全開だな。一方で貴族学校は、全寮制のところがおおいが、いたって普通の教育してる。

芝村：この差は就職率に表れていて、貴族学校出身は、コネでもないと就職できない。職人学校はほぼ確実に就職しているね。

芝村：とはいえ、他国から入ってくる子弟は貴族学校しか入れないのがほとんどだね。英才教育の関係で職人学校は高度かつ専門的すぎて途中編入ではついていけない。

芝村：貴族学校の卒業生の人気は事務、経理。経営とかだね。他国で留学して職人学校の皆においついてくる人もいるね。

芝村：ま。貴族学校は貴族学校で、めちゃくちゃに教育、教養に血道をあげて競争してるんで、この国は帝國きっての学生が大変な国だよ。

芝村：王犬は今フシミと遊んでる。フシミが棒をなげていいぞーとかやってる。

芝村：王妃が笑顔で見ているね。

▼越前藩国

芝村：越前はラジオ体操している。国は割と荒れ果てているが、いやそのせいか、かなりの出席率だ。公園一杯の人数で体操している。

芝村：終ると名刺交換している。

芝村：＃なんじゃこれ。ちょっとまってね。時間遡ってみてくる。体操のあと、名刺交換会しているよ。

芝村：＃リアルでのつきあいが必要だと言う事で、名刺が再普及しているみたい。

芝村：で。皆が家に帰っている。鍵締めてネットにあがってる。

芝村：・・・本質はあまり変わっていないような気がする

セントラル越前：あ、8/12に美化活動を行う看板でのr:実行を質疑投稿していますが、その効果は出

ていますか？

芝村：まだ受理されていないけど。どうだろうな。美化というよりは復興が大切そうだが＞越前

芝村：各国の土建業者が仕事して都市を再生させているね。よんたと土場が多い。詩歌も少しいる。

芝村：越前の人間は投資したり、回収したり市場で投機したりしてるね。プログラム書いている人もいる。

芝村：えっと、神聖＝宗教かかってて怖いので仕事頼まない 星鋼＝貴族かかってて怖いので仕事頼まない らしい。

芝村：まあ、要するに普通の建物でいいわけだね。越前は

芝村：見事な装飾とか職人の技の映える壁画とかはいらんらしい。

芝村：土建以外では割と仲いいね。＞越前 しかしまあ、建物は趣味性高いから

芝村：実用というか、土場と同じく、安くていいものは安くていいんだよ。あえて高くする必然を感じない。

シュワ：Qシ：土場藩国に流出していた越前藩国の技術者達は帰国してますでしょうか？

芝村：Aシ：がんばって戻した。

ポレポレ：Q：市場の数字から、復興が立ち遅れている分野などは判るでしょうか。

芝村：A：復興が立ち遅れているのは人間だねえ。それ以外は復旧ははやそう

芝村：越前でも、神社とかは神聖の建築家がやってるよ。

芝村：夕方になった。家から人々が出て、街に歩いている。

芝村：屋台が広がってるね。本国ではあまりみない星鋼料理のレストランもある。

芝村：皆が一斉に携帯端末で名刺交換の相手を入力してオフ会をはじめているぞ。

芝村：飲み屋街はこれまで越前になかったから、暁以降の新しい文化だね。

シュワ：Q：琥珀の民達はどのような食事(エネルギー補給など)をしているのでしょうか？

芝村：A：今見ている限りは姿が見えなかった。おそらく姿を見せない存在なのだろう。

▼おわりに

芝村：ということで10国回った。

芝村：あと1回は回すの増やさないとね。明日の16時から同様の会をおこないつつ、22時からやり直す。

芝村：がんばって30国越えを目指そう。

芝村：ということで飯にいく